



原さん、ありがとう。



フリーペーパー ペッコ

# PECCO

## VOL.58 2022.2



100周年  
はじめました。

大正11年  
4月20日に開館!

1922年の  
岩手県立図書館  
(初代館)

盛岡夜間中学

岩手県立杜陵  
高等学校の前身

岩手県立図書館

市役所

あっちは  
市役所。

現在の  
内丸緑地内に  
ありました。

昔も学生で  
賑わって  
いました。

向かいは  
公会堂。

時の首相原敬による  
一万円の寄付から  
県立図書館は  
始まりました。



図書館探検記 その23  
そめちゃんがゆく!



定点撮影



岩手県立図書館が行っている取組みのひとつに「定点撮影」があります。定点撮影とは、特定の場所(定点)を決めて、その場所を一定期間ごとに撮影することで、当館では昭和52年から実施しています。そこで今回は、数年に一度行っているこの定点撮影について、そめちゃんが担当者に直撃インタビュー＆徹底分析！撮影の裏話やこぼれ話もご紹介します！

どのくらいの頻度で撮影しているの？ 2年に1度です。



去年がちょうど撮影が行う年だったんだって♪

どこを何カ所撮影するの？

盛岡市内の93地点  
主に盛岡駅の北側や開運橋通から中ノ橋通にかけての周辺などを撮影しています。

撮影する場所は  
ずっと同じなの？

毎回変わったら  
定点じゃないかな？



同じですが、景観が大きく変わりそうな場所を選び、平成に入ってからいくつか定点を追加しています。

北山バイパスは  
全通までに  
26年!!



追加された定点  
北山2丁目  
トンネルは2009年に開通



なんのために  
撮ってるの？

イモいからじゃ  
ないかしら？



「郷土のその時期ごとの姿を撮影して  
社会の変遷を伝えるため」

図書館の役割のひとつに「郷土資料の収集」がありますので、こういった写真の収集もその一環と言えます。ただ、古い写真を所蔵している図書館は多いのですが、自ら写真を撮り、それを郷土資料として蓄積している図書館は珍しいと思います。



盛岡駅前通 開運橋の歩道橋から撮影

物事が徐々に変化していく過程は言葉では伝えづらいけど、写真なら一目瞭然だね!



定点写真撮影を実施している図書館の例

- 小平市立図書館(東京)
- 浦安市立図書館(千葉)
- こだいらデジタルアーカイブ
- 浦安アーカイブス

両館ともウェブ上で公開しています

ひとつの場所を何枚も撮るってホント？



旭橋西口交差点(3方向)



ここは、道路の拡張などで昔と同じ角度で撮影できなくなった場所でもあるんだって。だから、できる限り昔の写真に近い角度で撮るために、植込みに片足を突っ込んで撮ったりして、なかなか大変みたいです!



Google先生におまかせしたい…。

本当です。

定点は主に交差点に設定されており、一地点につき3~4方向撮ることが多いです。また、街並みを俯瞰するような高い場所にある定点は、撮影方向を細かく変えてパノラマ風に撮っています。現在は93地点で269枚の写真を撮っています。

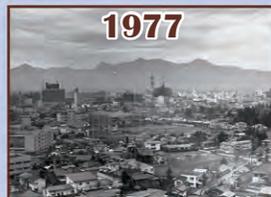
ズバリ!  
とっても変わったと  
思う場所はどこ??

最近だと「旅館 大正館」前の、善隣館から岩手女子高等学校にかけての通りが拡幅工事でだいぶ変わりました。開運橋付近もこの半世紀ほどで大きく変わっています。



善隣館から岩手女子高等学校にかけての通り

クイズ! !?どっから撮ったの!? ~撮影場所を当ててみよう!~



1977



1989



2021



大きな声では言えない  
ホンネ  
小声で読んでや。

ヒント

1. 赤白の鉄塔は中央通りのビルの上に建ってるよ! せ〜んぶ
2. 手前に下小路中学校が見えてるよ! 同じ場所から
3. 木のてっぺんが見えるくらい高い場所! 撮影しているよ!



ここはあらかじめ立入許可をもらわないと入れません! そのため、事前に月間天気予報を確認して日程調整をしたうえで撮影に臨んでいます。先方の職員さんに立ち会っていただくので時間はかけられませんし、後日の撮り直しも難しい場所なので、毎回緊張します…。

正解 ▶ 盛岡グランドホテルの屋上

展示のご案内

懐かしい風景

~定点写真に見る盛岡市の移り変わり~

2/14〜2/27日 3階 北側壁面

今まで撮影してきた定点写真の一部を、2月の展示でご紹介します。自分の記憶の中の風景と照らし合わせながら「ちょっと昔」の盛岡を見比べてみてください。建造物だけでなく、行き交う人の服装、車、看板、店名など、じっくり見ると面白い発見があるかもしれません。



## 山棲みの生き方

木の実食・焼畑・狩猟獣・レジリエンス

岡恵介 著 / 七月社 出版

北上山地山村に住む人々は、森の恵みをいただき、時に自然災害に脅かされながら森と共に生活しています。フィールドワークで訪れた岩泉町・安家に魅了された在住 20 年の著者が山での暮らしを描きます。2016 年 3 月に発行された初版に 2 つの章を追加し、1 つの章を大幅に書き換えた増補改訂版です。



## 文豪たちの住宅事情

住んだ家、住んだ土地から  
見えてくる文豪たちの人生と文学

田村景子 編著 / 小堀洋平・田部知季・吉野泰平 著 / 笠間書院 出版

総勢 30 名の文豪を取り上げ、なぜその「土地」「家」に住んだ(選んだ、引っ越した)のかを解説。彼らの住宅だけでなく、住まいや住宅事情が生活や作品に与えた影響についても解説されています。岩手からは石川啄木、宮沢賢治が取り上げられており、賢治のページでは、作品づくりに影響を与えた花巻での生涯を掘り下げています。



## マンガグルメ三陸街道 ラーメン旅情編

なかはらももた 漫画 / 三陸グルメマンガプロジェクト実行委員会 出版

ドラマ「あまちゃん」のファンである漫画家なかはらももた先生が、三陸沿岸でラーメンを求めるグルメ旅へ。北は八戸市から南は大船渡市まで沿岸 5 市にあるラーメン店をマンガで紹介します。震災やコロナにも負けずに営業しているラーメン店の力強い姿をぜひご覧ください。



## 世界一の地域医療を目指して 岩手医科大学物語

小川彰 著 / 潮出版社 出版

岩手医科大学は「チーム医療」の先駆者であり、日本唯一の地域医療の拠点として知られています。自身も卒業生であり、現在は理事長を務める著者が、創立 120 年の歴史と精神を語ります。震災やコロナ禍を通して見えてくる今後の課題と地域医療のあり方についても語られています。



## アルカリ色のくも

宮沢賢治の青春短歌を読む

佐藤藤雅 編著 / NHK出版 出版

9 人の現代歌人が宮沢賢治の短歌を鑑賞しつつ、短歌に込められた心情や短歌が詠まれた時期の賢治について考察していきます。「NHK 短歌」で 4 年にわたって連載された内容がまとめられています。あまり知られていない賢治の歌人としての一面を味わってみませんか。



## 図説日本の異界を歩く！ 遠野物語

志村有弘 監修 / 青春出版社 出版

座敷童子や河童で有名な『遠野物語』を分析・分類し、図説として再構成しています。遠野地方に残る伝承や習慣の謎を紐解きながら、古き良き日本の原風景に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。2013 年刊行の『図説地図とあらすじでわかる! 遠野物語』を改題・加筆修正した本です。